

令和7年度 現地検討会

一群馬県 奥万座地区地すべり対策一

主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
協力：林野庁関東森林管理局吾妻森林管理署

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃から当支部の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。

関東支部では、例年少人数による現地検討会を計画・実施しております。この度、林野庁関東森林管理局吾妻森林管理署のご協力を得て「群馬県奥万座地区の地すべり災害対策」を対象とした現地検討会を実施いたします。

奥万座地区では平成13年9月11日の台風15号の接近に伴った豪雨により、牛池地区・空吹地区・万座川地区・奥万座地区・坊主山地区の山腹崩壊による土石流の発生をはじめ、浅間白根火山ルート（万座ハイウェイ）付近を頭部とする地すべり（万座ブロック）が発生しました。本現地検討会では、奥万座地区の地すべり（熊池ブロック）において、火山地域の特性に対応したアンカー工や地下水排除工等の対策事業について見学を予定しています。また、天明3年（1783年）に発生した浅間山噴火に伴う土石なだれによる被害を今に伝える鎌原観音堂・孺恋郷土資料館の見学も予定しています。

関東支部会員はじめ多くの方々のご参加をお願い申し上げます。**特に学生や若手技術者の皆様のご参加も歓迎いたします。なお、見学スペース等の制限により参加人数の制限がございますのでご注意ください。**

記

期 日：令和7年11月6日（木）

場 所：群馬県吾妻郡孺恋村 干俣

案 内：日本地すべり学会（関東支部）・国土防災技術株式会社

参加者：日本地すべり学会員および一般参加者（定員20名、先着順）

参加費：学会員・一般 4400円（前納）

バス、保険、入館料、資料代として

行 程：10:30 集合（軽井沢駅）、17:20 解散（軽井沢駅）

※交通事情により解散時間が前後する可能性があります。

時刻	内容
10:30	JR軽井沢駅集合
10:40	軽井沢駅出発
	バス移動(60分)
11:40	浅間山北麓ジオパーク総合インフォメーションセンター ・鎌原観音堂 到着
	見学: 鎌原観音堂(20分)+嬬恋郷土資料館(30分)
12:30	食事: 浅間山北麓ジオパーク総合インフォメーションセンター(30分)
13:00	出発
	バス移動(30分)
13:30	万座自然情報館到着
	万座自然情報館見学及びトイレ休憩(20分)
13:50	バス移動(10分)
14:00	奥万座地区地すべり現場到着
	奥万座地区地すべり見学(90分)
15:30	奥万座地区地すべり現場出発
	バス移動(90分)+トイレ休憩(20分) 浅間山北麓ジオパーク総合インフォメーションセンター
17:20	軽井沢駅到着

- ・ 集合・解散地までの往復交通費は各自ご負担ください。
- ・ 集合・解散場所から現地への移動はバスで行います。
- ・ 昼食については、各自ご準備ください。(鎌原観音堂付近に食事処あり)
(行きの移動のバス内にて昼食をとっていただくことも可能です。)
- ・ 現地では舗装のない場所も歩きます。汚れてもよい服装・靴(降雨時に長靴推奨)でご参加ください。また、現地は標高が高いため防寒着をご持参ください。
- ・ 各自安全チョッキをご準備ください。ヘルメットは貸与します。
- ・ 工事現場内を歩きますので降雨時は雨合羽をご準備ください。
- ・ 雨に関する注意報及びすべての気象警報時以外は決行します(ただし短縮等の可能性あり)。
- ・ 中止時はキャンセル料等費用及び手数料を差し引いて返金します。
- ・ なお、天候による中止以外は入金後のキャンセルには返金いたしません。

アクセス(参考):

東京方面(行き) 北陸新幹線(あさま 605号 東京 9:04→軽井沢 10:10)
(帰り) 北陸新幹線(あさま 628号 軽井沢 17:41→東京 18:52)

申し込み方法等：

1. 関東支部ホームページ URL : <https://japan.landslide-soc.org/kanto.html>
の申込サイトから申し込みをお願いします。
申込期限：令和7年10月28日（火）
2. 主催者側で国内旅行傷害保険に加入します。申込書の所定欄に記載されていない場合などは、保険に加入できない場合があります。
3. 申込後、担当幹事よりメールにて請求書を送付しますので、事前に参加費を銀行振り込みでお支払いください。お振込み期限は令和7年10月31日（金）とさせていただきます。
4. 申込の受付は先着順に行い、原則として定員になるまで受付を行います。
5. 令和7年11月3日（月）になっても、連絡がない場合には、下記のアドレスにご連絡ください。E-mail: msy.matsuda@ajiko.co.jp
6. 領収書は電子メールにて送付いたします。
7. 当日欠席されても参加費は返却いたしません。

その他：

当日、CPD 参加証を配布する予定です。

行程は当日の道路状況等により前後する可能性がありますのでご了承ください。

以上

～参考資料～ 見学地概要

① 鎌原観音堂・孀恋郷土資料館

「鎌原観音堂」は、1783(天明3)年の噴火で発生した「鎌原土石なだれ」の最大の被災地である鎌原集落で唯一残った建物です。発掘調査による被害の状況や鎌原集落の独特の復興過程などは、火山学、防災学、社会学的にも極めて重要です。また、現在でも奉仕会の方々により保全管理されるとともに、地元住民や来訪者に歴史の語り継ぎが行われている点でも、浅間山北麓ジオパークにおいて最も重要なサイトの1つとなっています。

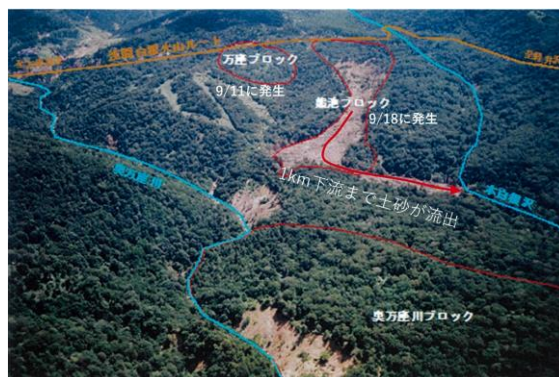
(群馬県浅間山北麓ジオパーク HP より : https://geopark.jp/geopark/asama_n/#geosite)



鎌原観音堂

② 奥万座地区地すべり対策

奥万座地区は平成13年の9月の台風豪雨に伴い発生し、万座ブロックの頭部に位置する浅間白根火山ルートでは道路に延長110m、落差1.5mの亀裂が発生しました。また、熊池ブロックでは地すべりが発生し、1km下流まで土砂が流出しました。万座ブロックは、杭工・アンカー工、横孔ボーリング排水工を実施し、2004年(平成16年)に対策が概成しました。熊池ブロックはアンカー工、杭工、横孔ボーリング排水工等を実施2013年(平成25年)に対策が概成しました。当該地区は火山特有の特性に考慮した対策工が進められており、火山地域の地すべり対策を見学することができます。



平成13年の被害状況



万座ブロック頭部に発生した亀裂



熊池ブロック対策工状況